

# 環境に関するアンケート調査結果

脱炭素社会推進課

## 1 調査目的

今後の環境に係る施策の参考にするため、環境に関する皆さんの率直なご意見やご感想を伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター818人(郵送モニター:282人 インターネットモニター:536人)

調査方法: 郵送及びインターネット

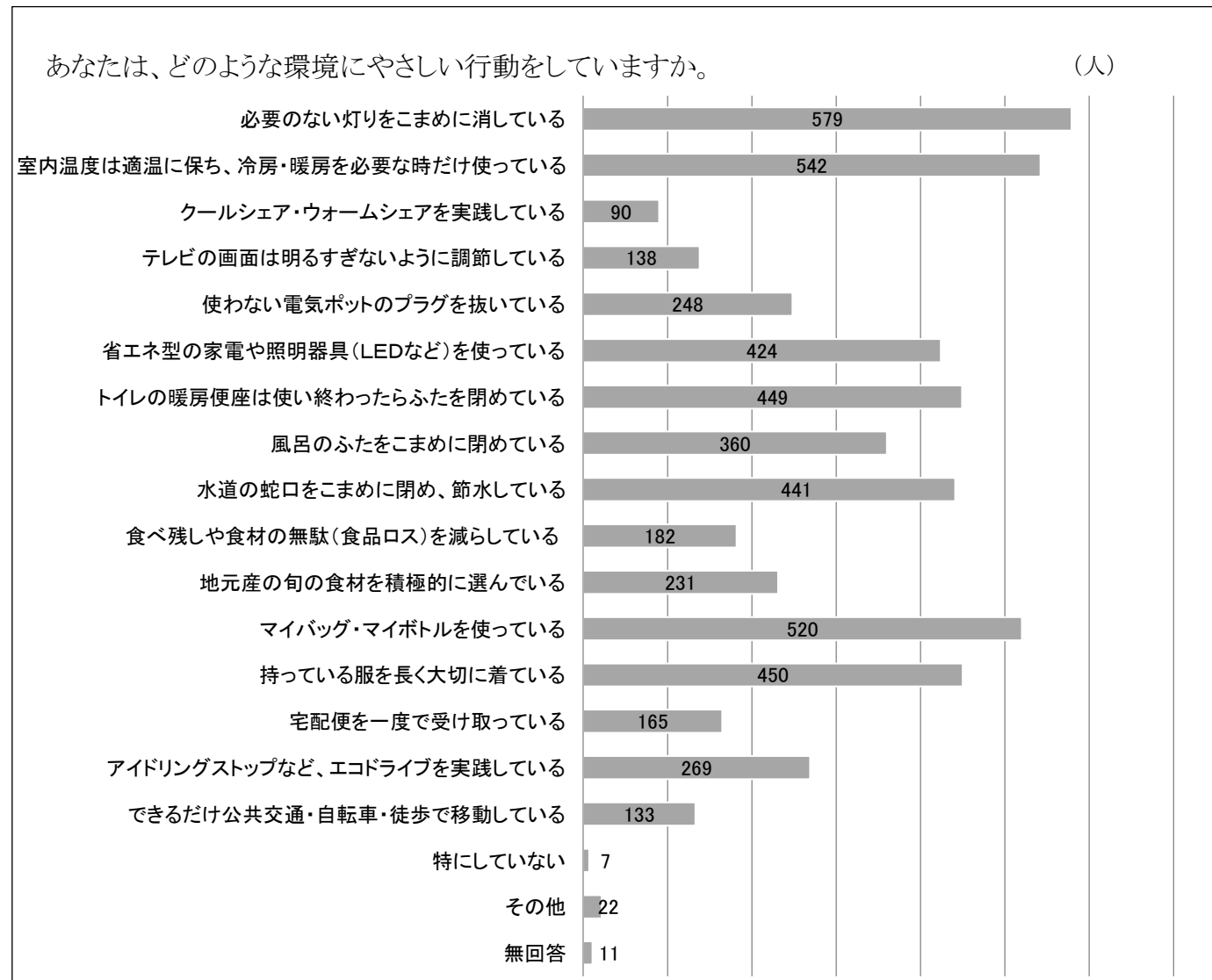
調査期間: 令和5年12月1日～12月22日

回収結果: 690人(回収率84.4%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

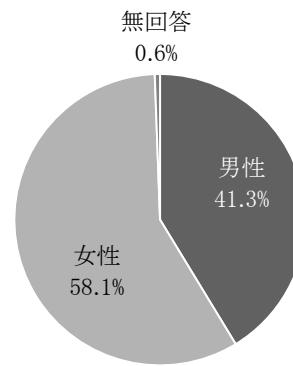
## 3 結果概要



## 4 回答者属性

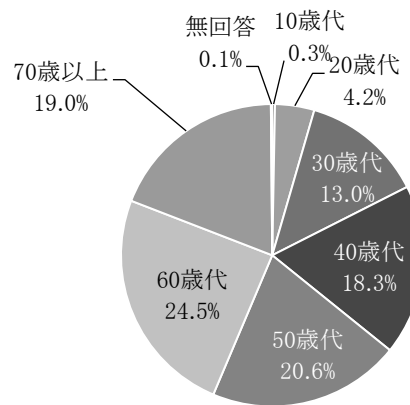
### (1) 性別

	人数	割合
男性	285	41.3%
女性	401	58.1%
無回答	4	0.6%
計	690	100.0%



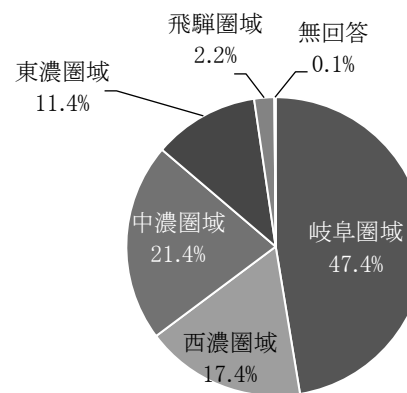
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	2	0.3%
20歳代	29	4.2%
30歳代	90	13.0%
40歳代	126	18.3%
50歳代	142	20.6%
60歳代	169	24.5%
70歳以上	131	19.0%
無回答	1	0.1%
計	690	100.0%



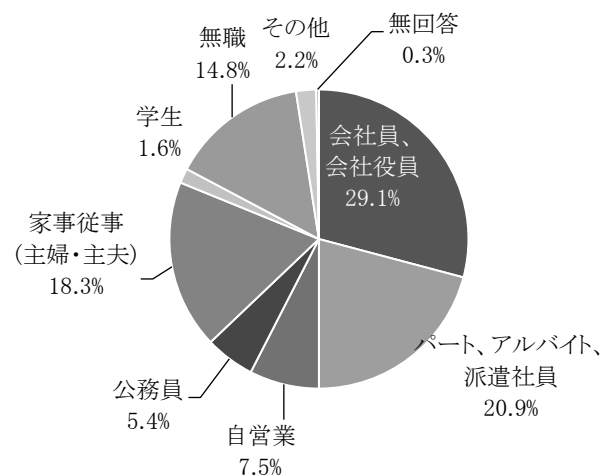
### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	327	47.4%
西濃圏域	120	17.4%
中濃圏域	148	21.4%
東濃圏域	79	11.4%
飛騨圏域	15	2.2%
無回答	1	0.1%
計	690	100.0%



### (4) 職業別

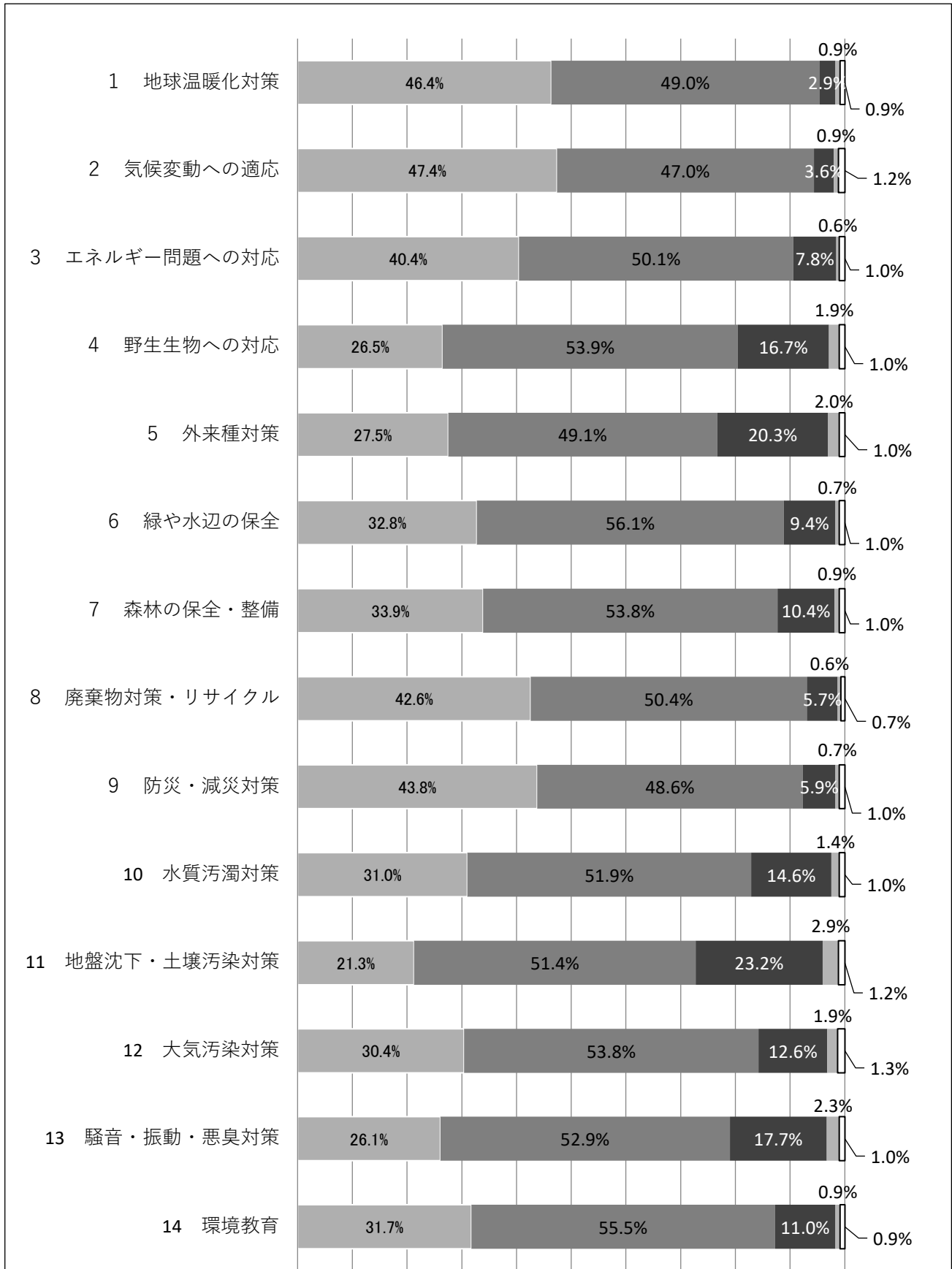
	人数	割合
会社員、会社役員	201	29.1%
パート、アルバイト、派遣社員	144	20.9%
自営業	52	7.5%
公務員	37	5.4%
家事従事(主婦・主夫)	126	18.3%
学生	11	1.6%
無職	102	14.8%
その他	15	2.2%
無回答	2	0.3%
計	690	100.0%



## 5 調査結果

問1 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。

	非常に 関心がある		少しは 関心がある		あまり 関心がない		まったく 関心がない		無回答		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 地球温暖化対策	320	46.4%	338	49.0%	20	2.9%	6	0.9%	6	0.9%	690	100.0%
2 気候変動への適応	327	47.4%	324	47.0%	25	3.6%	6	0.9%	8	1.2%	690	100.0%
3 エネルギー問題への対応	279	40.4%	346	50.1%	54	7.8%	4	0.6%	7	1.0%	690	100.0%
4 野生生物への対応	183	26.5%	372	53.9%	115	16.7%	13	1.9%	7	1.0%	690	100.0%
5 外来種対策	190	27.5%	339	49.1%	140	20.3%	14	2.0%	7	1.0%	690	100.0%
6 緑や水辺の保全	226	32.8%	387	56.1%	65	9.4%	5	0.7%	7	1.0%	690	100.0%
7 森林の保全・整備	234	33.9%	371	53.8%	72	10.4%	6	0.9%	7	1.0%	690	100.0%
8 廃棄物対策・リサイクル	294	42.6%	348	50.4%	39	5.7%	4	0.6%	5	0.7%	690	100.0%
9 防災・減災対策	302	43.8%	335	48.6%	41	5.9%	5	0.7%	7	1.0%	690	100.0%
10 水質汚濁対策	214	31.0%	358	51.9%	101	14.6%	10	1.4%	7	1.0%	690	100.0%
11 地盤沈下・土壌汚染対策	147	21.3%	355	51.4%	160	23.2%	20	2.9%	8	1.2%	690	100.0%
12 大気汚染対策	210	30.4%	371	53.8%	87	12.6%	13	1.9%	9	1.3%	690	100.0%
13 騒音・振動・悪臭対策	180	26.1%	365	52.9%	122	17.7%	16	2.3%	7	1.0%	690	100.0%
14 環境教育	219	31.7%	383	55.5%	76	11.0%	6	0.9%	6	0.9%	690	100.0%



非常に興味がある
少しは興味がある
あまり興味がない
まったく興味がない
未回答

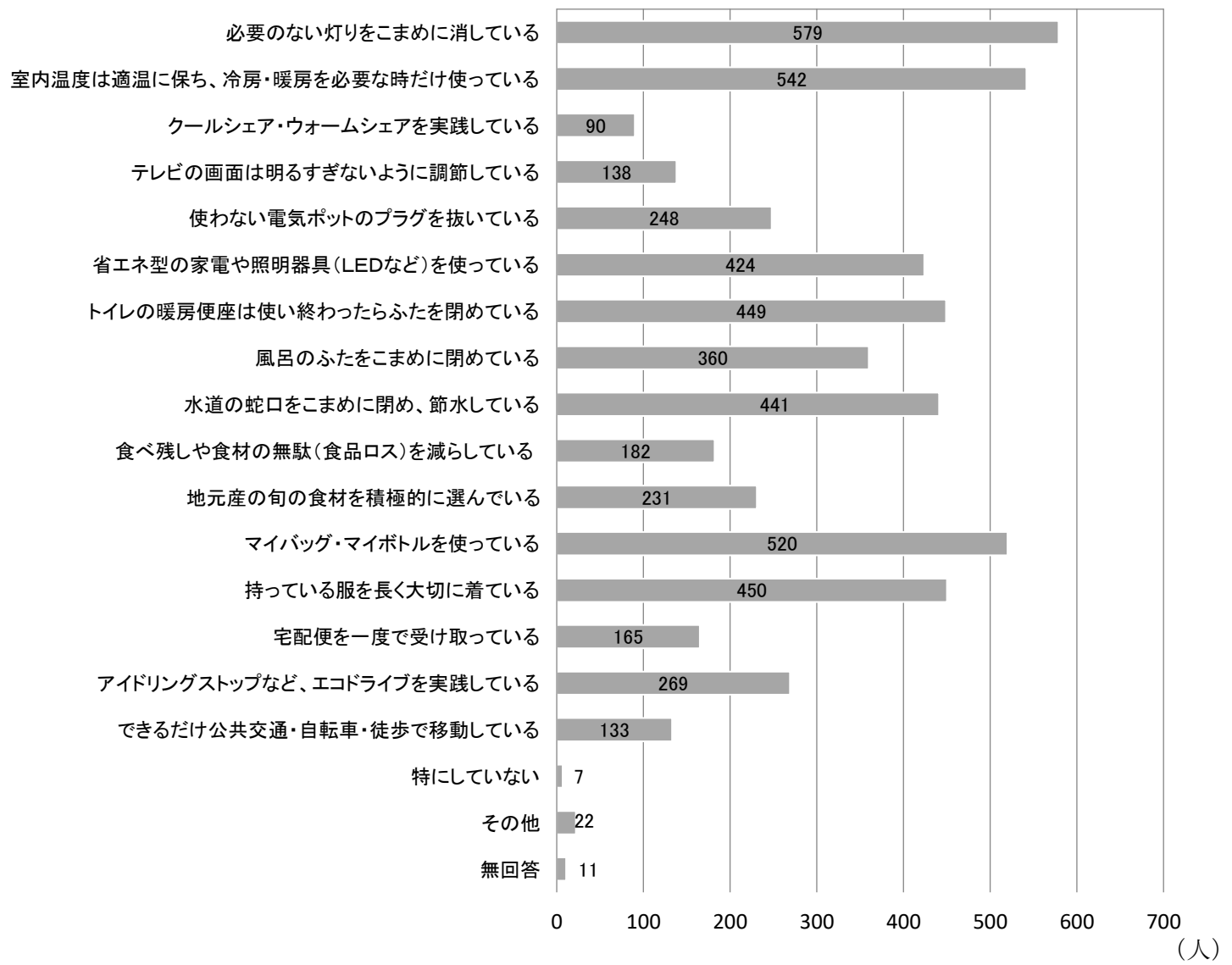
問2 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。(複数回答可)

回答者690人

	回答数	割合
必要のない灯りをこまめに消している	579	83.9%
室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時だけ使っている	542	78.6%
クールシェア・ウォームシェアを実践している	90	13.0%
テレビの画面は明るすぎないように調節している	138	20.0%
使わない電気ポットのプラグを抜いている	248	35.9%
省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使っている	424	61.4%
トイレの暖房便座は使い終わったらふたを閉めている	449	65.1%
風呂のふたをこまめに閉めている	360	52.2%
水道の蛇口をこまめに閉め、節水している	441	63.9%
食べ残しや食材の無駄(食品ロス)を減らしている	182	26.4%
地元産の旬の食材を積極的に選んでいる	231	33.5%
マイバッグ・マイボトルを使っている	520	75.4%
持っている服を長く大切に着ている	450	65.2%
宅配便を一度で受け取っている	165	23.9%
アイドリングストップなど、エコドライブを実践している	269	39.0%
できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動している	133	19.3%
特にしていない	7	1.0%
その他	22	3.2%
無回答	11	1.6%
計	5,261	-

○その他のうち、主なもの

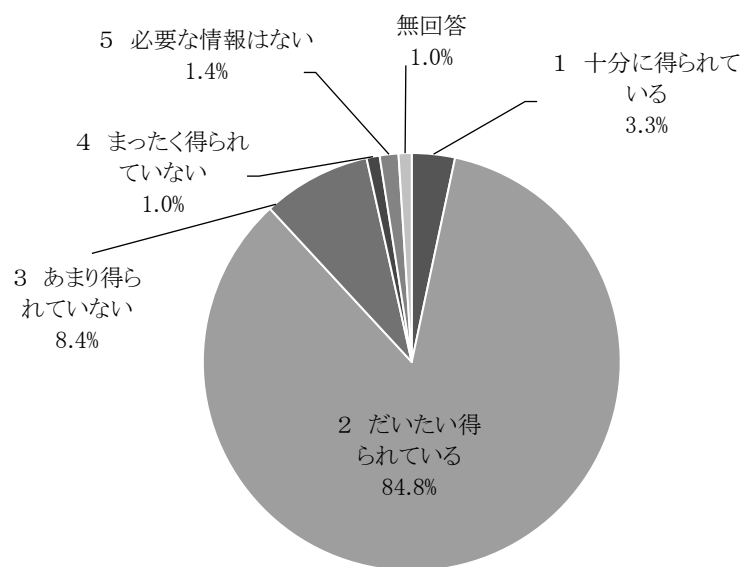
- ・ごみの分別をする。
- ・電気ポットやトイレの暖房便座の使用を控える。
- ・宅配BOXを使用し、再配達にならないようにしている。
- ・太陽光パネルを設置する。



問3 あなたは、環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。  
 次の中からあてはまるものを1つあげてください。  
 また、3または4と答えた方は、得られていない情報をお答えください。

回答者690人

	回答数	割合
1 十分に得られている	23	3.3%
2 だいたい得られている	585	84.8%
3 あまり得られていない	58	8.4%
4 まったく得られていない	7	1.0%
5 必要な情報はない	10	1.4%
無回答	7	1.0%
計	690	100.0%



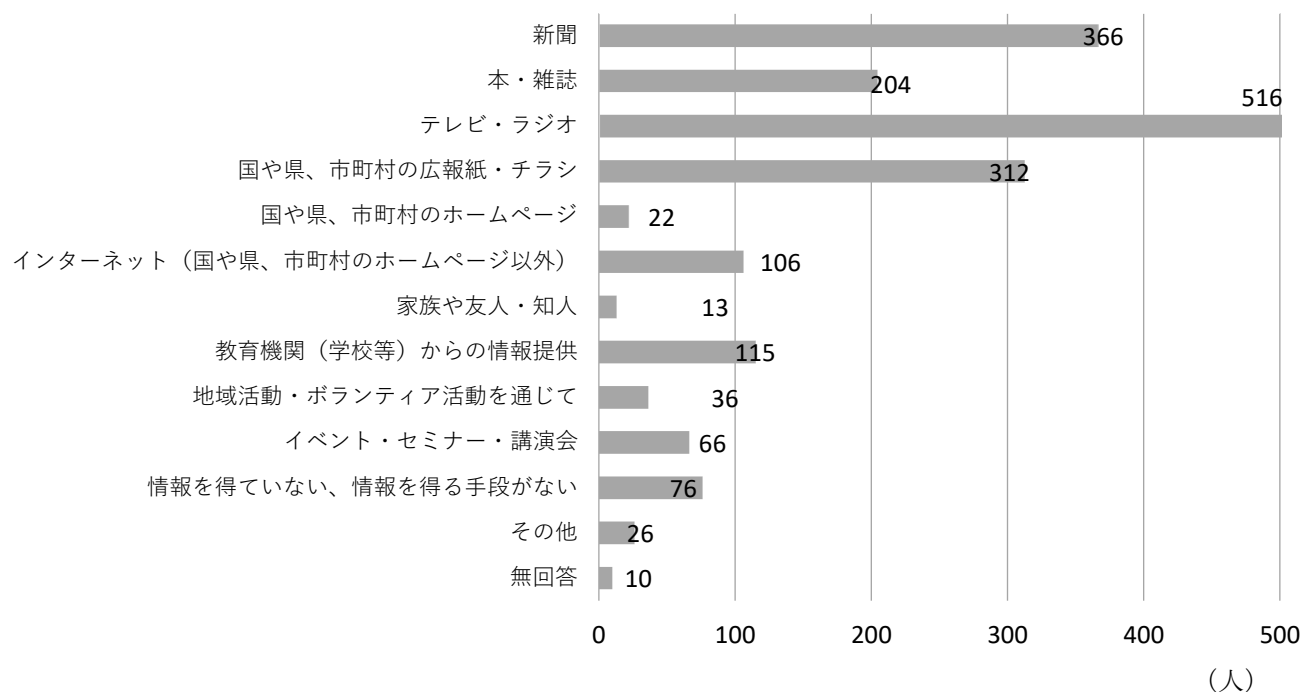
○得られていない情報のうち、主なもの

- どんな情報が発信されていて、どんな情報が得られていないのかがよく分からない。
- 情報発信する側の発信方法が、住民に本当によく伝達されているかが疑問に思う。
- 身近なところから何を始めればいいのか具体的に教えて欲しい。
- 情報の入手方法が分からない。

問4 あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報を得る主な手段は何ですか。（複数回答可）

回答者690人

	回答数	割合
新聞	366	53.0%
本・雑誌	204	29.6%
テレビ・ラジオ	516	74.8%
国や県、市町村の広報紙・チラシ	312	45.2%
国や県、市町村のホームページ	22	3.2%
インターネット(国や県、市町村のホームページ以外)	106	15.4%
家族や友人・知人	13	1.9%
教育機関(学校等)からの情報提供	115	16.7%
地域活動・ボランティア活動を通じて	36	5.2%
イベント・セミナー・講演会	66	9.6%
情報を得ていない、情報を得る手段がない	76	11.0%
その他	26	3.8%
無回答	10	1.4%
計	1,868	-



○その他のうち、主なもの

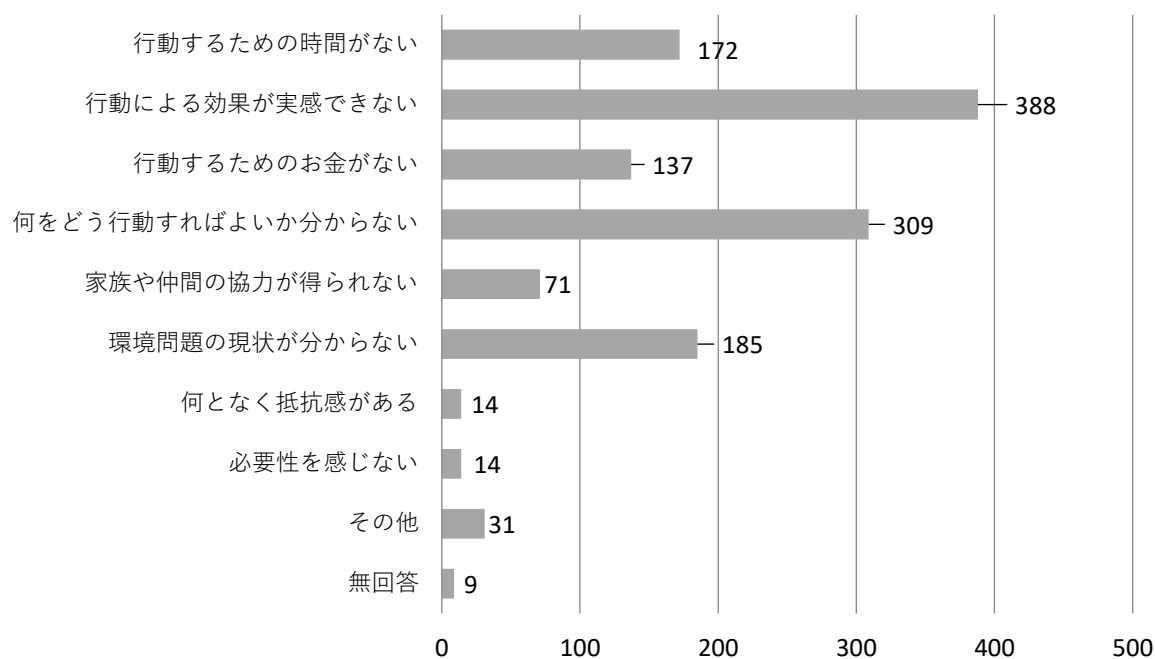
- ・SNS
- ・職場



問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで難しいと思う点、行動できない、あるいは行動しない理由は何だと思えますか。（複数回答可）

回答者690人

	人数	割合
行動するための時間がない	172	24.9%
行動による効果が実感できない	388	56.2%
行動するためのお金がない	137	19.9%
何をどう行動すればよいか分からない	309	44.8%
家族や仲間の協力が得られない	71	10.3%
環境問題の現状が分からない	185	26.8%
何となく抵抗感がある	14	2.0%
必要性を感じない	14	2.0%
その他	31	4.5%
無回答	9	1.3%
計	1,330	-



(人)

○その他のうち、主なもの

- ・大勢の人が同じ意識で取り組むことが難しいから。
- ・自分に及ぶ影響を具体的にイメージできないから。
- ・年齢や体力、住んでいる環境により簡単なものではないと思う。

問6 その他、県の環境行政に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

○ネット回答者のうち86人、郵送回答者のうち43人の方から、貴重なご意見をいただきました。  
(記入率18.7%)

・環境問題はすぐには解決も成果もないものですが、やらなければ確実に人類に大きな影響を及ぼすので、いかにこの問題について考える人が多くなるかが重要である。

・今日の環境問題の多くは、人々の日常生活、通常の事業活動等から生じるため、地域における環境行政は、住民や事業者など地域のそれぞれの主体との連携のもとに推進が図られる必要があると思いますが、環境にやさしい行動を実践すると効果が実感できるような地域の環境行政及び広報にも期待しています。

・資源リサイクルの点で、具体的にどのようにリサイクルされているのかを情報としてもっとわかりやすくしてもらえると、資源ごみの出し方に気を付けるところが理解できます。

・テレビやインターネットなどを見ない人には伝わらない。県民全員が知ることのできる環境を作ることが大切。

・前項目の問5にも書きましたが、県の環境行政を含めて広報誌を見る機会がないので、市役所でも配布するとかアプリで配信するとかがあると、関心が持てるかもしれません。

・子供達に環境教育を続けて頂きたいです。私は小学生の時に関東大震災のドラマ仕立ての映像を学校で見ましたが、衝撃で、地震の際にどんな予想外の事が起こるのか等と今でもよく覚えています。環境問題も映像で伝えると子供達の心に残りやすいのではと思います。

・県から、環境を変えるために〇〇しよう！などの呼びかけがあると、行動してみようかなっていきっかけができるので、何かキャンペーンをしてほしいです。

・何を具体的にやっているのか、岐阜県はなにをゴールとするのか、県民に浸透するキーワードが必要。

・日常生活において、県の環境行政自体があまり意識されていないと思う。

・各務原市の汚染水の事例を教訓として県の緊急対応策の実行を望む。